

まれっと

令和5年
5月10日

第33号

あなたの^ボ_ロVOLO（やりたい！）を応援します！



「点訳コミュニケーションの会」の活動風景(詳細は4面記事をご覧ください。)

- ❖ 「まれっと」=(mullet)は、英語のボラ(鰻)。「ボラ」と「ボランティア」を掛けました。
- ❖ 「ボラ」は大きくなるにつれて呼び名が変わる、出世魚です(ボラ→トド)。高く飛び跳ねることからボランティア活動の発展を願って命名しています。
- ❖ 「VOLO(ボロ)」=ラテン語で「やりたい！」という意味

ボランティア情報

ボランティア募集

ペットボトルキャップの仕分けボランティア	<ul style="list-style-type: none">・日時:5月22日(月)と6月26日(月)14時~16時 ※短時間の参加可・会場:市総合福祉センター(長門石 1-1-34)・内容:ペットボトルキャップの仕分け作業・定員:5名程度(申込み不要)
中高生ボランティア体験講座	<ul style="list-style-type: none">・日時:8月8日(火)9時~17時 8月9日(水)8時30分~17時・内容:簡単な手話講座や聴覚障害のある子ども達と楽しく交流します。・対象:市内に在住または市内の学校に通っている中高生で、講座後、障害者支援や街頭募金等のボランティア活動に参加できる方。・集合:市総合福祉センター(長門石 1-1-34)・参加費:無料・定員:10名(応募多数の場合は抽選)・締切:7月21日(金)12時まで

※ボランティア募集やイベントは、内容変更や中止になる場合があります。予めご了承ください。

ボランティアコラム③・・・スタッフのつぶやき・・・

外出中の災害の備えとして、持ち歩き用「防災ボトル」を作いませんか。

プラスチック製のドリンクボトルに、小型ライト、携帯トイレ、レジ袋、ウェットティッシュ、マスク、メモ、筆記用具、ハンカチ、飴、羊羹、絆創膏、小銭、常備薬など、非常時に役立つグッズを詰めて作ります。例えば帰宅難民になった際に活躍します。

プラスチックボトルは中身がつぶれることがないので、眼鏡を入れるのにも向いています。また、水にぬれても中まで入らないので、家族写真などを入れてもいいのではないのでしょうか。

ボランティアセンター新職員紹介

この度、生活支援課より異動してきました岡です。前任の池田君の存在が大きすぎて、正直困惑中ですが、色々な方と色々な話をして色々な知識を得ていきたいので、気軽にお声かけください！！
食べること・呑むことが大好きですので、お勧めがあれば、そちらの情報提供もお願いします(^_^)岡
(写真左から2番目)

はじめまして、「佐藤」と申します。4月から久留米市社会福祉協議会に入職し、ボランティアセンターで働くことになりました。よく「落ち着いている」と言われるのですが、新社会人で、心の中はいつもバクバクです。頼れる先輩方に支えて頂きながら、日々まい進していきたいと思います。優しく見守って頂けると幸いです！(写真中央)



助成金情報

シニアボランティア活動助成

- 助成金額：上限 20 万円
- 対象：高齢者・障害者福祉、子どもの健全な心を育てる交流活動をしている、または行おうとするシニアのボランティア活動団体または NPO 法人
- 締切：5月25日（木）（当日消印有効）
- 公益財団法人 大同生命厚生事業団

地域福祉チャレンジ活動助成

- 助成金額：上限 400 万円
- 対象：地域での継続的自立生活を支えるシステム展開、5つのテーマに該当する活動をしている NPO 法人等の団体
- 締切：5月31日（水）（当日消印有効）
- 公益財団法人 日本生命財団

久留米市市民活動・絆づくり推進事業費補助金

- 補助金額：・かなえるニーズ部門 1万円～30万円
・協働パートナー部門 1万円～100万円
（その他、協働のたねまき・チャレンジ枠・学生
・若者活動活性化事業枠もあり）
- 対象：市民活動団体が行う、より多くの市民の幸せや喜びにつながるよう、市民が主役となって地域の困りごと等を解決する活動
- 提案締切：11月10日まで（締切は毎月10日）
・ただし、予算の上限に達した場合は、受付終了とする。

久留米市つながり届く市民活動推進補助金

- 補助金額：①集める活動 1万円以上20万円以下
②仕分ける活動 1万円以上40万円以下
③配る活動 1万円以上40万円以下
- 対象：市内で行われるフードバンクやフードドライブなど、食料を集める活動、仕分ける活動、配る活動を行う活動団体
- その他：予算の上限に達した場合は、受付終了とする。
- 助成期間：令和6年度3月31日まで

※詳細はご相談ください：久留米市 協働推進課 TEL0942-30-9064 FAX0942-30-9706

※ご不明な点・詳細は各団体 HP をご覧になるか、ボランティアセンターへお問い合わせください。
ボランティアセンター TEL/0942-34-3035・FAX/0942-34-3090

ろうあ工房つつじ 作業所まつりが開催されました！

特定非営利活動法人 ろうあ工房つつじの作業所祭りが4月29日（土・祝）に開催されました。あいにくの雨天ではありましたが、久しぶりにカレーライスなど飲食物の提供や手作り小物の販売が行われ、多くの人でにぎわいました。

つつじでは、聴覚に障害のある人が、布製品の作製等の作業をされているだけでなく、手話のできる人やろうあ者同士の交流の場となっています。聴覚障害や、手話に興味のある人はボランティアとしての活動も可能ですので、ご連絡・見学等されてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ

〒830-0027
久留米市長門石1丁目369-15
（長門石コミュニティセンター隣）
TEL・FAX:0942-65-7466
10:00-15:00



切手仕分けボランティアを行いました。

ボランティアセンターでは、昨年より月1回、切手仕分けボランティアを行っています。

どのような仕分け作業をしているか説明します。切手を集めている回収先で違ってくるのですが、一般的には、封筒から切手を切り取ります。その際に、切手の周りを約5ミリ～1センチ残して、消印は切らずに残している使用済み切手と消印の文字が途中で切れている切手を仕分けています。

使用済み切手は個人、団体、会社等からご寄付いただいています。ご協力ありがとうございます。

ボランティアセンターでは、今後はペットボトルキャップの仕分け作業のボランティアも始めます。「ちょいボラ」にご興味のある方はお気軽にご相談ください。



パソコン点訳コミュニケーションの会

点訳ボランティアとは、視覚に障害のある方のために、文字で書かれている書籍や広報紙などの内容を点字にして伝えるボランティアです。

広報くるめ、くるめ福祉等を中心に発行月毎に点訳し、点訳版を作成しています。

その他にも団体からの依頼にも応じて、点訳作業をしています。

視覚障害者にとっての、触る文字である点字は、生活の中で情報を得るために重要なツールです。

現在、公共施設や様々な商品などで、点字を目にする機会が多くなりましたが、まだまだ充分ではありません。

私たちが目で見える情報を正しく点字に直し、情報を提供するために活動しているのが点訳ボランティアの皆さんです。



●発行 久留米市社会福祉協議会ボランティアセンター

●発行日 令和5年5月10日（奇数月の10日発行）

●連絡先 〒830-0027

久留米市長門石1丁目1番34号 総合福祉センター

TEL **0942-34-3035**

FAX 0942-34-3090

E-mail heartful@heartful-volunteer.net

URL <https://www.heartful-volunteer.net>

